

## 瀋陽駐在員事務所

### 瀋陽の歴史は、●●年！！



遺跡



半地下住居の再現

中国悠久の歴史・・・この表現を聞いた時、皆さんはどのぐらいの歴史を思い浮かべるのでしょうか？

中国 3000 年の歴史？それとも 4000 年？ いやいや中国は 5000 年の歴史だよ！と種々いろいろな説があるでしょうが、でも 3000～5000 年の間ぐらいが、日本人の一般的な歴史観ではないでしょうか。しかし、当地瀋陽では、中国●●年の歴史と言われると 7000 年となります。

今を遡ること約 40 年前。瀋陽市北部の北陵公園西側に、約 7200 年前の女系氏族の定住集落遺跡が発見されました。住居跡からは数多くの土器・石器・玉製品・木工製品等が発掘され貴重な学術資料となっています。現在は、遺跡公園として昔ながらの半地下住居を再現するなど整備されており、新石器時代の様子を学べる博物館も併設されています。また、大昔、太陽の代わりに世を照らしたと言い伝えられている「太陽神鳥」の模型は、その後、形を大きくし瀋陽の中心広場にモニュメントとして飾られ、その黄金の姿で、瀋陽市民に変わらぬ「太陽」を照らしていました（現在は地下鉄工事中にて転居）。面白いのは婚姻状況。民族末期には一夫一妻に落ち着いたようですが、それまでは女性が男性をたくさん従え、結婚時には「男到女家」（男が女の家系に入る）の風習が・・・。そっか、瀋陽の女性が強いのは昔から一緒なんだと、改めて思いました（笑）

渋川 隆彦

## ユジノサハリンスク駐在員事務所

### 「初めての海外赴任で・・・PART 10（最終章）」

#### 休日の過ごし方

「ローマの休日」では美しい女性との出会いがありますが、「ロシアの休日」では美しい自然との出会いがあります。サハリンには、緑に映える樹木、透き通った川の水面、青々と輝く海。海の幸、山の幸は豊富で飽きることはありません。

8月に友人から誘われウニを取りに行きました。砂浜からサンダルを履いて 10m ほど行き、ちょっと手を伸ばすと、そこにはウニ、ウニ、ウニでした。秋にはサハリン産マツタケ。焼いてよし、天ぷらにしてもよし、マツタケご飯も最高です。冬は氷の張った湖に穴を開け、釣り糸を垂らすとニシンが大漁、脂ののったニシンの刺身はこれまた格別です。しかし、ロシアと言えばカニですよね。昨年、3回カニの“食べ放題ツアー”に誘われたのですが、カニの取れ行きが悪く、何れもキャンセルとなりました。一人 1,000 円弱くらいで、その日の朝、取れたタラバ、毛ガニ等が食べ放題とのことでした。

さて、私もロシアに来て丁度 1 年が過ぎました。『初めての海外赴任で・・・』のシリーズもそろそろ今回で収束したいと思います。これまで体験談を中心に両国の文化や慣習の違いについて書いてきましたが、ビジネス面では、まだまだ、国際ルール上の未成熟な部分があり、容易に事は運びません。しかし、ロシアとロシア人を知れば知るほど、その人間性には共鳴できる部分が数多くありました。日本からロシアとロシア人ファンを一人でも多く作ることを使命に、これからも現地情報を発信して参ります。

三上 訓人



ウニ取り



サハリン産マツタケ